

## ■ 業績Web入力要領 (1) ■

細かい質問などについてはホームページ上のQ & Aを参照してください

募集期間	年度単位で入力(対象年の4月から翌3月まで) ※前年度分の掲載もれは翌年度も追加で入力可能
重複文献について	筆頭者と共に著者の所属部署が異なる場合、それぞれに同一文献を掲載可能。 部署兼任の場合、それぞれに同一文献を掲載可能。 (※同一文献を入力した際は、別文献と判別される為、 先に登録された業績を引用し、後から入力した文献は削除すること。)
掲載対象期間	発表時に在職(在学)していた者の業績を対象とする。 4月～翌3月の間に在職(在学)期間がある共同著者(共同発表者)は掲載対象としてもよい。 掲載対象者(所属が違っていても)には氏名にアンダーラインを付記すること。
掲載対象者 (アンダーラインを引く)	教職員(病院助手・臨床研修医含む) 大学院生(特別研究学生含む) 研究生(外国人留学生、特別研究生含む) 外国人特別研究員(短期研究員含む) ポスト・ドクター リサーチ・アシスタント 実験補助員
掲載対象者 (条件付き)	名誉教授、客員教授、学生 (※共同著者、発表者が掲載対象者の場合に掲載可能)
掲載対象外 (アンダーラインを引かない)	非常勤講師 非常勤医師 兵庫医療大所属者

- ◇ 他部署が先に業績を作成している場合は先に作成されたデータを引用し、重複作成しない。
- ◇ できるだけ「PubMed」「医中誌」等のデータを引用すること。
- ◇ 著者、発表者、発明者全員を記載する。(1500字を超える場合は関係者以外を、その他〇名とする。  
また、「学会発表」「科学研究費等班会議」については要領(2)を参照。)
- ◇ 複数名表記時は名前の間に「半角コンマ+半角スペース」で続けて入力する。
- ◇ 英語名表記ではフル氏名で姓・名の順に入力する。(例: 兵庫 太郎 → Hyogo Taro)
- ◇ 終頁の、初頁と重複する箇所は省略する。(例: 3005-30018→3005-18)
- ◇ 「英文」表題の筆頭と固有名詞以外は小文字で入力する。
- ◇ 英文、数字は半角にする。数は基本的にアラビア数字を統一する。  
(ただし、「PubMed」「医中誌」等データベースを引用する際の数字はデータ通りとする。)
- ◇ まぎらわしい文字や記号は適切に使い分ける。
- ◇ ※未確定(Epub ahead of print/in print等)のものは入力しない

### まぎらわしい文字や記号の例

- (ハイフン) — (ダッシュ) ー (長音) ー (マイナス)  
A (エー) と  $\alpha$  (アルファ)  
b (ビー) と  $\beta$  (ベータ)  
U (ユー) と  $\mu$  (ミュー)  
X (エックス) と  $\chi$  (エックス)  
1 (数字) と ! (エル) と I (アイ)  
0 (数字) と o (オー)

## ■ 業績Web入力要領 (2) ■

細かい質問などについてはホームページ上のQ&amp;Aを参照してください

区分1	区分2		掲載要領
著書	著書	「単著」「分担執筆」など原則としてISBNが付与された学術書の執筆・編集・監修・翻訳したもの	<p>条件</p> <p>① 同一書籍内の同一著者が書いたものは、ページを併記し1つにまとめる。      ② 章全体を執筆した場合は章題での記載とし項目題それぞれでの記載は不可。      但し、章のなかで一部を執筆した場合は、項目題での記載可能。</p> <p>■ 対象例：専門分野の入門書、概説書、啓蒙書、便覧、ハンドブック、教科書、テキスト、辞典、一冊にまとめたProceedings      (例：International Congressシリーズなど)</p> <p>■ 対象外例：セミナー、講習会用テキスト類、案内冊子</p>
学術論文	総説	学術誌に掲載された総説、解説、講座、シリーズ、特集など	<p>条件</p> <p>① 「洋雑誌」「和雑誌の」の区別は、本学図書館の「OPAC」に準ずる。      ② Onlineのみで発表される電子ジャーナルの学術論文は、査読ありの「総説」「原著」「症例報告」に限り掲載可能。      ③ 学術誌の別冊・増刊・特別号など。(例：Annual Reviewシリーズなど)      ・別冊、増刊号、特別号は巻(号)頁(号)の箇所へ入力する</p> <p>◆ 「洋雑誌」=雑誌名は略誌名で入力。      [PubMed(<a href="http://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/entrez?db=Journals">http://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/entrez?db=Journals</a>)参照]      ・雑誌名が全て英大文字であっても各単語の最初の文字を大文字とし、以下を小文字とする。</p> <p>◆ 「和雑誌」=雑誌名はフル誌名で入力。(英語表記の場合も略さない)      漢字の旧字体は基本的には使わない。本学図書館の「OPAC」で旧字体を使用しているものは、旧字体の表記とする。例) 日本臨牀      ・「和雑誌に掲載された英語論文」=誌名をローマ字で表記(略誌名)      例) Hyogo Ika Daigaku Igakkai Zasshi (Acta Med Hyogo)</p>
	原著	レフェリーシステムを有したオリジナルな論文で、学術誌に原著として掲載された論文	
	症例報告	学術誌に掲載された症例報告・臨床治験・短報などとして掲載された論文	
	研究報告	学術団体および各省庁などの研究助成金および研究委託費による研究・調査報告書	
学会発表	国際学会	国際学会での発表	条件 全て英文で記載(日本開催も含む)
	国内学会	日本開催の全国規模学会での発表	条件 ① 英語で発表した場合は、発表者および演題を英語表記とする。 ② 国内学会は雑誌増別冊や学会抄録誌など冊子やCDなどに刊行・記録された学会のみを対象とする。 ■掲載対象：日本内科学会、日本外科学会など「日本××学会」とあるもの
	地方会等	日本開催の全国規模学会以外の地方会での発表	条件 ■掲載対象：日本消化器病学会近畿支部例会、日本医学放射線学会関西地方会など
	科学研究費等班会議	科学研究費等による総会・班会議での発表	条件 ① 代表者、本学関係者氏名以外は他〇名とする。
	研究会・講演会等	上記の分類に収まらない専門家を対象にした講演会やシンポジウム・勉強会・研究会などでの発表	条件 ■掲載対象：(兵庫医科大学医学会学術講演会)、超音波ドプラ研究会、中皮腫細胞診セミナー、近畿脳腫瘍研究会、など
	条件	学会名について	① 接続詞と冠詞を除く各単語の筆頭文字は大文字とする。 ② 正式名称で記載する。略名があるものは学会名の後に( )で入力。 ③ 社団法人などの法人格の記載は省略する。 ④ 学会の「th」「st」等は上付き文字にしない。(× th st)
		開催年月日について	① 開催年月日を入力する。 ② 各学会等の決定通りとする。
		発表形式について	① 自然災害等により開催がWebや誌上での代替開催となった場合は「発表形式欄に(Web発表)(誌上発表)を選択。但し、中止された場合は掲載しない。 ② 一般講演、ポスター発表、会長講演、特別講演、招待講演、教育講演、シンポジウムなど、発表形式のわかるものは入力する。 ③ 発表した講演が賞を受賞したときは、演題のあとに(受賞名)を入力しても良い。 ④ 座長、司会、コメントーターなどの講演は掲載対象としない。
		その他	① 学会での発表が掲載された雑誌名や刊行年、頁などは記載しない。 ② 学会発表と抄録誌・記録の発行が年をまたがっている場合、抄録誌・記録での掲載をそれぞれの年度の業績としては記載不可。 但し、学会発表後に総説の論文形態で雑誌掲載されたものは年度をまたがっていれば会議録を除き別々の業績として記載可能。
特許	特許		年内の出願特許および取得特許または公開特許
その他	上記の分類に収まらないものを入力	条件	<p>■掲載対象：市民講座など一般向けの講演・カンファレンス、学会・学術団体以外の主催による勉強会や研究会などの発表セミナー・講演会用テキスト、小冊子、巻頭言、質疑応答(Q and A)治療指針、座談会など新聞(一般紙およびMedical Tribuneなども含む)、週刊誌、企業誌など学術誌とは認められないものに発表したものなど視聴覚メディア(テレビ、ラジオ、教材用ビデオなど)での出演</p> <p>■掲載対象外：取材をうけて書かれた記事(本人が執筆したものではない)、学術的な内容と直接関係しない業績</p>